

会 議 録

会 議 名		小金井市図書館協議会 第2回		
事 務 局		図書館		
開催日時		平成19年11月12日(月)13時30分～15時30分		
開催場所		小金井市立図書館 本館 地下集会室		
出席者	委 員	荒井 容子 浦野 知美 兼森 順子 君川 恵子 小林 佳子 野垣 成恵 松尾 昇治 矢崎 省三 山口 源治郎		
	欠席者	松尾 耕作		
	事務局	向井教育長 石川生涯学習部長 田中図書館長 安居庶務係長 権沢奉仕係長 三田村主事 川口主事		
傍聴者の可否		可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<p>1 協議事項</p> <p>(1)図書館協議会委員委嘱について</p> <p>(2)「小金井市の図書館」について</p> <p>(3)小金井市子ども読書活動推進計画の実施状況について</p> <p>(4)その他</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1)市議会9月定例会の報告について</p> <p>(2)その他</p>		

<p>会議結果</p>	
<p>提出資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「小金井市の図書館」 2 平成19年度小金井市一般会計予算（抜粋） 3 図書館法 4 小金井市図書館規則 5 小金井市図書館協議会条例 6 小金井子ども読書活動推進計画 7 各種案内 8 「えほんよんでね」 9 図書館だより 10 小金井の教育 11 小金井市図書館協議会委員名簿 12 小金井市地域教育会議 13 小金井子ども読書活動推進計画進捗状況 14 「月刊 こうみんかん」
<p>その他</p>	

審議経過（主な発言要旨等）

田中館長	<p>皆さんこんにちは。図書館長の田中です。</p> <p>本日はお忙しい中、平成 19 年度第 2 回図書館協議会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>それでは議事に入る前に生涯学習部部長石川よりご挨拶申し上げます。</p>
石川部長	<p>皆さん、こんにちは。生涯学習部部長の石川と申します。</p> <p>9 月 31 日の任期満了をもちまして、谷垣十四雄教育長に変わり向井一身教育長が就任いたしました。向井教育長は、小金井市立第 2 中学校校長の職を経て教育長に就任いたしました。向井教育長には後ほどご挨拶をしていただきたいと思います。</p>
田中館長	<p>それでは、本日の議題に入る前に第 10 期図書館協議会委員の委嘱状の交付を行います。</p> <p style="text-align: center;">（委嘱状の交付）</p>
田中館長	<p>なお、委員の任期につきましては、平成 19 年 11 月 1 日から平成 21 年 10 月 31 日までの 2 年間です。</p> <p>続きまして、教育長からご挨拶をいたします。</p>
向井教育長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>日頃、図書館行政にご協力いただきまして感謝申し上げます。</p> <p>11 月 1 日から第 10 期図書館協議会の委員構成が新しくなりました。4 名の方が新しくなれましたが引き続き委員になられた方ともどもよろしく願いいたします。</p> <p>図書館本館は昭和 50 年建築で老朽化しており、蔵書も増えてかなり手狭となっております。また、2 年間に渡って正規職員を 5 名削減し、非常勤職員の数を増やして図書館への行政改革を実施し、夜間開館の拡大実施、西之台図書室の開館日拡大などを実施しました。しかしながら、夜間開館日の拡大や開館時間の延長など市民の図書館へのニーズは高まってきています。</p> <p>こうした状況ですが、平成 22 年度には、新図書館建設への調査委託が予定されており、ここで新しい展望が開けるのかなどの思いもあります。今後とも図書館運営にご尽力賜りますようお願いいたします。</p> <p>なお、この後次の公務がありまして申し訳ございませんがここで退席させていただきます。</p>
田中館長	<p>それでは、初めての審議会ですので自己紹介をお願いします。</p>

	(協議会委員・事務局職員の自己紹介)
田中館長	<p>なお、当協議会の連絡につきましては、庶務係長の安居が担当します。</p> <p>それでは、まず図書館協議会の内容を簡単に説明します。図書館協議会は、小金井市図書館協議会条例第 14 条に基づき設けられた図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関です。本市においては、平成元年から設置しています。</p> <p>では、本日の議事に入ります。</p> <p>本日は初会議ですので、会長、職務代理者が決まっていないので決めたいと思います。</p>
	(互選により会長に矢崎委員、職務代理者に兼森委員を選出)
矢崎会長	<p>それでは、次第に従い進めていきます。</p> <p>資料が配布されていますので、事務局から資料説明をお願いします。</p>
田中館長	(配布資料の説明)
矢崎会長	この件で質問ありますか。
野垣委員 田中館長	「小金井市の図書館」の P35 で点字図書の PC 点訳図書とは？ 点字原本ではなく FD にデータを入れておいて、必要な時に点字に印刷するものです。
矢崎会長 田中館長 矢崎会長 権沢係長	<p>ネットで予約できるようになり利用はどうですか？</p> <p>ネット予約は 59,350 冊の内 18,815 冊、約 31% です。</p> <p>市民以外の利用者とは？</p> <p>連携している 4 市の他に、利用登録に制限がないのでそれ以外の近隣市、また、帰省等で一時的な方もいます。</p>
松尾昇委員	著作権、口述権等が厳しくなっている中、無償が原則であるが謝礼という文言は大丈夫か？また、清掃管理委託費が 400 万と高いが？
田中館長	交通費程度の金額ですが文言については検討します。清掃管理委託費については、毎日の清掃、別館管理、夜間の管理が含まれており、委託先もシルバー人材センターなので妥当であると考えています。
矢崎会長	では次に次第の「小金井市子ども読書活動推進計画の実施状

	況について」に移ります。事務局お願いします。
三田村主事	(実施状況の説明)
矢崎会長 浦野委員	何か質問はありますか。 学校図書館の情報通信ネットワークシステムの整備とあるが具体的には？
三田村主事	近隣市での実例をみたことがあるが、これは情報システム部門、学校部門との連携事業なので各課の現状を把握して次回お答えします。今回の説明は図書館の立場でさせていただいています。
浦野委員 三田村主事	では、図書館としてのイメージは？ 学校図書館は質、量共に充分でないので、将来的には公共図書館と学校図書館をネットワークシステムによってその部分を効果的に補えればと考えています。
矢崎会長 石川部長	これは、ハード面の話ですね？ はい。そのため、学校教育部が主導で進めていきたい話ですが予算の関係上厳しいものだと考えています。
野垣委員	平成 18 年度に検討している大人向け「お話会」、点字絵本があるがその結果は？また、子どもの読書に関する講演会等の開催、周知で平成 17、18 年にあったものが 19 年度なくなっているが？最後に、キョウドウが協働と共同と併記されているので統一して下さい。
三田村主事	大人向け「お話会」は、市制 50 周年事業の立ち上げとなりました。その中で、提案と実施をさせていただきます。点字絵本作成については、1 つ 3 ヶ月かかるものですが、今年度は 1 冊です。既製品のものについては 5 冊の購入をしました。また、子どもの読書に関する講演会等の開催、周知の平成 19 年度についてはスペースの関係上省略したが次回追加します。最後に、キョウドウについては協働に統一したいと思います。
山口委員	計画は 20 年度で終了だが次を考えているのか、また、総括・反省等はあるのか？
田中館長	第 2 期もやりたいと考えています。
山口委員 田中館長	進めてきて手応え、感想は？ いろいろ行事をしてきて子どもの関心を引くことはできたと考えています。ただ、子どもの読書活動に結びついたかは学校のこともあり疑問が残ります。学校図書館が自立しないと難しく、次は学校側にも入ってもらい働きかけを一緒に進めて生きたいと思っています。
矢崎会長	では次に「報告事項市議会 9 月定例会の報告について」に移

田中館長

ります。事務局お願いします。

市議会 9 月定例会につきまして、図書館関係について報告いたします。

まず、一般質問として、五十嵐議員から、図書館の充実のためにと、の趣旨で質問がありました。

- 1 新聞・雑誌コーナーの椅子を増やせないか。
- 2 2 階の児童室にも机椅子を増やしたらどうか。
- 3 新しい学習室の活用状況は。有効に使う工夫は。
- 4 各公民館分館図書室との連携は十分なされているか。
- 5 開館時間を早めないか。

の 5 点が出ました。

答弁は、

「資料が多く余裕がない状況なので、より適切な除籍を進め、余裕を生み出したい。予算との兼ね合いもあるが、新年度予算にてより多くの方が腰掛けられるソファーに買い替えたい」

「学習室の利用については、一層の PR に努めたい」

「資料の配置については、改善すべき点があれば改善したい」
開館時間を早めることについては、

「開館準備を整えてから利用者をお迎えするというのが接客の基本と考えておりますが、開館準備作業と平行しながら開館するという方法もございます。この場合、窓口が開館準備で忙しい中での開館ですので、騒音も発生し、十分な接客がとれず、またミスを誘発する可能性もございます。利用者がゆったりと読書できる環境の確保が難しいため、慎重に考える必要がございます。こうした状況をご理解いただきつつ、開館時間を早められるか、検討課題とさせていただけたらと思います。」
と答弁しています。

渡辺議員からは、図書館改革に向け、市長は動くべきだ、との質問がありました。

- 1 目を疑う図書館人件費の実態
- 2 私に公開された図書館職員のタイムカード
- 3 求められる市長のリーダーシップ
- 4 改革の方向性について問う

が出ました。

答弁としては、実態と数字についてそのまま答え、給与の感想については、「図書館職員の給与についても、小金井市の職員給与表に基づき支給されております。ベテラン職員が多いのかなという印象はございます。」と答弁しています。

次に補正につきましては、老朽化によりエレベーターの使用が安全上から支障をきたしているため、エレベーターのリニューアル工事 740 万円と緊急修繕 100 万円を上程し可決しています。

行財政改革調査特別委員会では、図書館に関して、「指定管理者の導入によるサービス向上について」の陳情が出ており、「多摩地区の図書館における指定管理者導入及び PFI 事業者建設図書館調べ」、「図書館を業務委託した場合の想定する業務範囲について」の資料要求が出ていました。野見山委員と森戸委員から質問がありました。指定管理者の責任範囲、図書館行政の考え方、司書の養成、図書館協議会答申を尊重しないのか、図書館の PR が足りないのでは、などの議論がありました。答弁としては、

「指定管理者の責任範囲は図書選定の最終決定を除き全てに及ぶ」、「図書館行政については、本市の図書館運営方針並びに図書館法をはじめとするあらゆる関係法令を遵守し、遂行することにある」、「司書養成については特段の措置をしていない」、「図書館協議会答申については承知している。今後も図書館協議会と協議をしていく」

「委託や指定管理者導入についての議論はまだ行っていない。今後の市民サービスに役立てていくためには、現行の枠組みで困難の場合には視野に入れていきたい」、「図書館の存在の意義について、様々な機会をとおして PR に努めたい」と答弁しました。

行財政改革調査特別委員会の行政視察として、指定管理者を導入している兵庫県明石市立図書館があげられ、11/13.14 に視察が行なわれ、私が同行します。

決算につきましては関根議員から、

- 1 監査委員会からの図書返却延滞の指摘
- 2 切り抜きについて
- 3 17年6月の図書館協議会答申はどうなっているのか
- 4 開館時間について
- 5 司書確保について
- 6 18年3月に出された「これからの図書館像」はどのように反映されたのか

について質問がありました。

関根議員の質問については、「延滞と切り抜きなどの実態について答弁し改善がなかなか難しい実態を説明し、切り抜き防

<p>矢崎会長 山口委員</p>	<p>止については、切り抜きや書き込みされた本を展示し利用者のモラルの喚起につとめ」、「図書館協議会答申については西之台会館図書室の開館日数の延長、夜間開館の拡大などで応えている」、「司書の確保については、団塊の世代の退職があるので養成について一定考えていきたい」、「これからの図書館像については検討していない」、「そして様々の課題について、今後図書館協議会に諮問していきたい」、と答弁しています。</p> <p>議会報告については以上になります。</p> <p>何か質問はありますか。</p> <p>明石に行くのならば指定管理者をチェックした側の元図書館長の文章が図書館界の11月号に載っているのを見てからいって下さい。</p>
<p>矢崎会長</p>	<p>それでは、以上で平成19年度第2回図書館協議会を終わりにします。</p>